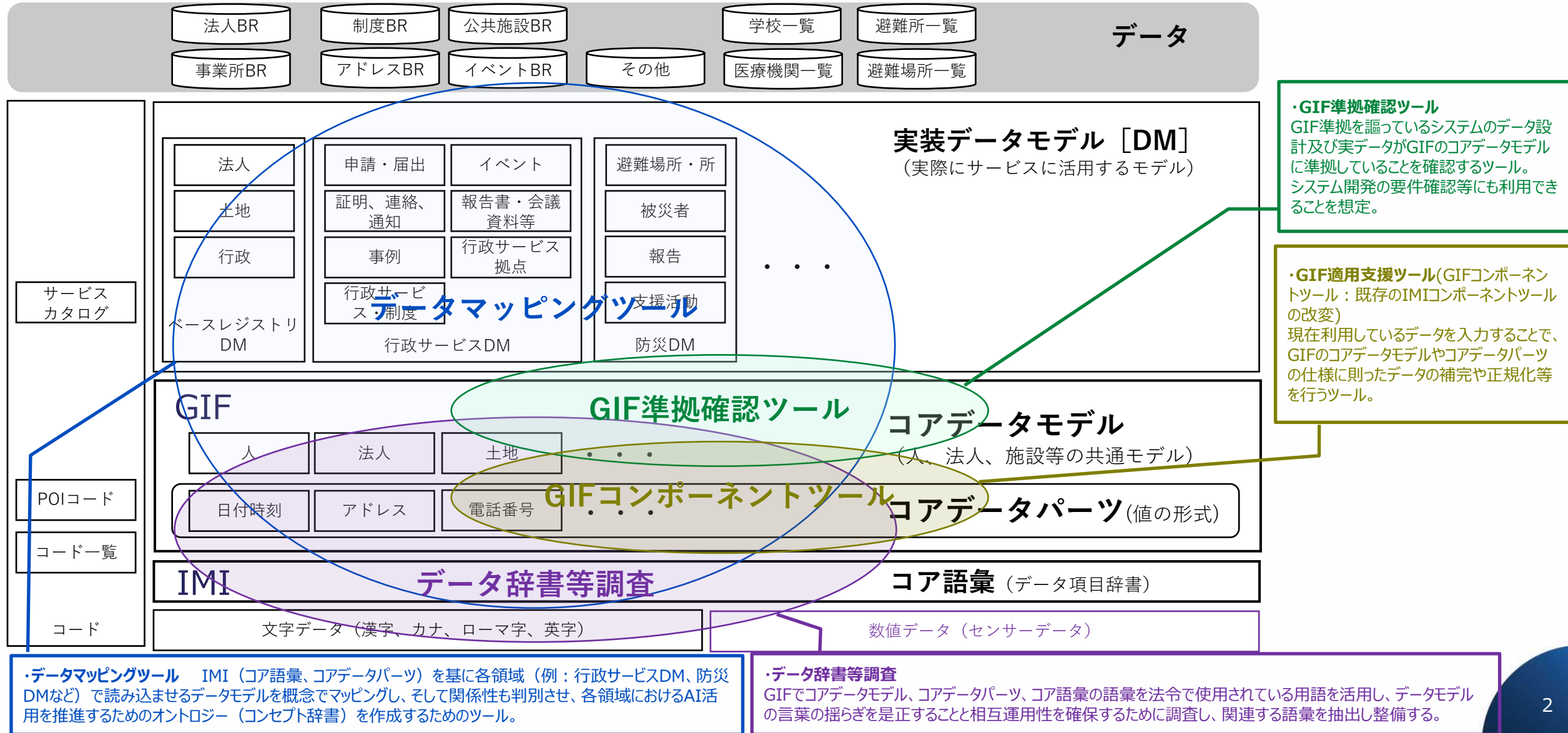


提供予定ツール等の概要

IMI/GIF関連ツール等の関係性



■ 開発の概要

- 相互運用性の確保が必要なデータモデルを対象とし、GIFで定義されたコアデータモデルとの項目マッピングや形式マッピング（コアデータパーツ含）の情報を元に、準拠状況を確認するツールを提供する。

■ 目的

- 相互運用性の確保のためのGIF準拠の準拠状況を確認することを目的としている。

■ 開発方法

- 最低価額落札方式による一般競争入札

■ 効果

- GIFの適用拡大に向けて、GIF準拠の準拠状況の見える化が可能となり、GIF適用の促進が期待される。

GIF適用支援ツール（GIFコンポーネントツール）

◆ 開発の概要

- 2018年度のMETI委託事業において作成したIMIコンポーネントツールをGIFに準拠したツールへ改修する。
- 対象とするIMIコンポーネントルールは、IMIに則して作成されたデータをターゲットに、データの形式変換や正規化、バリデーションを行うツール。
 - 利用者は自身が開発するプログラムの一部に組み込むことで利用する。
- GIF用ツールとしてデジタル庁が主管するGIFのGitHubより公開。

◆ 目的

- IMIコンポーネントがターゲットとしているデータを、GIFに則して作成されたデータに変更することで、GIF適用拡大を支援する。

◆ 開発方法

- 最低価額落札方式による一般競争入札

◆ 効果

- GIFの適用拡大
- GIF適用データの品質向上
- データ相互運用性の向上

(参考)IMIツールこれまでの経緯

- ◆ 2018年度 METI委託事業の一環でIPAが作成
 - 作成は契約前事前確認公募を経てインディゴ株式会社へ委託
 - METIへ納品。後に、METI(gBizINFO)より公開
- ◆ 2024年3月
 - METI(gBizINFO)からの公開を停止しデジタル庁へ移管
 - デジタル庁からは未公開
- ◆ 追加情報(詳細経緯は不明)
 - 2021年度にインディゴ株式会社がMETIからの依頼で改修を実施 (したらしい)
 - 非公式に「IMI Tool Project」として GitHubから公開されている(現在、誰も管理していない?)
 - 当時のMETI担当者(退職済み)が公開した模様

■ 調査の概要

- 行政分野のデータ利活用を促進するために、行政機関で使われている用語についてのデータ辞書を作成する。
- データ辞書は最終的にオントロジーとして整備し、ナレッジグラフやデータの品質、相互運用性の向上やAIのデータ理解支援などへ活用可能となることを目標とするが、本調査では同義語/類義語/類似語一覧として辞書作成までを行う。
- また、当該辞書をどのようにオントロジーとしての整備を進めるかの検討を併せて行う。

■ 目的

- データの相互運用性の確保に必要なデータ辞書の在り方や適用方法について、実践的な調査・検証を行い標準化に向けた情報を得る。

■ 調査方法

- IMIの「ic:人型」、「ic:法人型」、「ic:住所型」にある用語に対し、人・法人・住所と関連が深い法令で用いられている用語をテキストマイニングで抽出し、同義語、同意語、類義語をリスト化する。
- 総合評価落札方式による一般競争入札

■ 効果

- 調査結果の辞書を活用することで、法令用語や海外語彙を用いて作成されたデータの表す意味について、IMIのコア語彙を軸として共通理解可能となるため、我が国のデータ利活用の向上に貢献することが期待できる。
- データ辞書をオントロジーとして整備し活用するための調査は、データ辞書に関する我が国の整備方針の検討に資することが期待できる。

■ 開発の概要

- 我が国には豊富な語彙があることで、用語が持つ概念間のマッピングが難しく、データ利活用の阻害、AIを活用した発展的なデータ利活用の阻害要因になっているため、概念マッピングを自動処理的に行うためのデータマッピング作成ツールを作成する。

■ 目的

- 組織や領域を跨い用語の揺れを吸収し、用語どうしをその概念でマッピングするデータマッピングツールにより概念マッピングを容易に作成し、それをオントロジーとして利用することでAI活用などの課題を解決し、さまざまな領域でデジタル活用を可能とする。

■ 開発方法

- 今回の開発ではSIPの成果である統制語彙作成支援ツールをIMI向けに改修し、簡易データマッピングツールとして対応を行う。
- IPA要員による開発もしくは最低価額落札方式による一般競争入札

■ 効果

- IMIのデータマッピングができるようにツールを作成することで、生成AIの精度を高めることができる。
- IMI用のツールを拡充することで、社会に対してGIFを含めたデータモデルの適用が容易になるため、データ活用の促進が期待される。

IPA